

くらしき
マメ得知識

倉敷市の3つの日本遺産ストーリーを紹介！
くらしき日本遺産トリップ

日本遺産は、地域の歴史的特色や文化財にまつわるストーリーを国が認定するもの。倉敷市は、「繊維産業発展」「北前船寄港地」「古代吉備の遺産」の3つのストーリーが認定され、市全域に構成文化財が存在するなど、まさに「日本遺産のまち」なのです！

市ホームページ「くらしき日本遺産トリップ」では、倉敷市の3つの日本遺産ストーリーや目的別のモデルコースなどを紹介しています。360° ぐらりと見られるVR動画で、倉敷小町や学芸員の解説を聞きながら構成文化財などをバーチャル見学することもできます。また、AR体験や多言語による音声ガイドを聞くことができるスマートフォン用アプリ「日本遺産倉敷Navi」を活用すると、現地でのリアル体験がもっと楽しめます！





くらしき日本遺産
トリップはこちらから



クラシキ文華新聞 Vol. 24
令和3年3月吉日発行
【編集・発行】
クラシキ文華新聞編集部
(倉敷市くらしき情報発信課内)
〒710-8565
岡山県倉敷市西中新田 640
TEL086-426-3061
FAX086-426-4095
pubinfo@city.kurashiki.
okayama.jp

WEBもチェック！
クラシキ文華
https://citysales.city.kurashiki.okayama.jp/
クラシキ文華 検索
倉敷市公式 Facebook
https://www.facebook.com/KurashikiCity
倉敷市公式 Instagram
https://www.instagram.com/kurashiki_city/

編集後記
今回は、お取り寄せのできる、倉敷うまれの「ええもん」について紹介しました。どれも倉敷ではおなじみの、自慢の味ばかりです！ぜひ、お取り寄せして、家で倉敷の味を楽しんでみるのはいかがでしょうか。
だんだんと春らしくなってきました。もうすぐ新年度が始まりますね。来年度も、倉敷の魅力をたっぷりとお届けしていきます！（安藤・羽原）

第24号発行のご挨拶



岡山県南部に位置する、倉敷市一。町家や古民家を利用した新たな観光スポットが次々と生まれている「倉敷美観地区」、日本初の私立西洋美術館である「大原美術館」、繊維産業を進化させ続けてきた「国産ジーンズ発祥の地・児島」など、歴史と伝統が常にアップデートされ、新しい文化が生み出されています。そんな、倉敷で華開く新しい文化「クラシキ文華」の魅力をお伝えする『クラシキ文華新聞』第24号をお届けします。ぜひ、ご一読ください。



倉敷うまれの ええもん おとりよせ

橘香堂「むらすづめ」
◆稲穂に群がる雀の姿が名前のゆえん
明治生まれの倉敷銘菓◆
粒あんを薄いクレープ状の生地で作るんだ、明治生まれの倉敷銘菓。米粉で作る菓子がほとんどだった当時に小麦粉や卵を使用し、洋菓子のような目新しさが注目を集めたそうです。豊作を祈願する踊りの編み笠の形と稲穂の色を表現、現在でも熟練の職人の手によって一つ一つ丹念に手作りされ、伝統の味は長く広く親しまれています。

豊かな自然に育まれた名品や、代々受け継がれてきた伝統のあの味。お取り寄せできるものの中にも、倉敷うまれの「ええもん」がいっぱい。倉敷に暮らす人々にはおなじみのあんな品・こんな品など、お家に居ながらにして楽しめる倉敷の味をご紹介します。ぜひ、ご賞味を！



ジャンナ「倉敷ジャンナぶりん」
◆地元の新鮮な素材を活かしたなめらかで超濃厚なプリン◆
イタリアのレストランで修行したシェフが作った、練乳を使用したなめらかで超濃厚なプリン。中でも、国の地理的表示（GI）保護制度の登録を受けた倉敷市の特産品「連島ごぼう」を使用したごぼうプリンは、ごぼうの香ばしさと自然な甘みが人気で、ごぼうが苦手という方でもおいしく召し上がれます。

梶谷食品「シガーフライ・ビスケット」
◆「食べだしたらやめられない」飽きの来ないビスケット◆
「シガー」とは日本語で「葉巻」のこと。形が似ていることと、ハイカラで粋なイメージからそう名付けられたシガーフライは、「食べだしたらやめられない」のキャッチコピーでおなじみです。子どもでも食べやすく、しかも飽きの来ない味が幅広い年齢層に受け、今も昔も梶谷食品の看板商品となっています。

菓子処ひらい「玉島銘菓 良寛てまり」

◆地元で愛された良寛さんにちなんで
まるごと栗を包んだ和菓子◆

和歌や漢詩、書などで活躍し、倉敷市玉島の円通寺で修行していた良寛和尚は、子どもとの交流を欠かさず、特に手毬に親しんでいたそうです。そんな良寛和尚のように愛されるようにと作られたのがこの「良寛てまり」。厳選された素材で作られた皮・餡・栗のハーモニーは絶品です。



カモ井食品工業「チキンライスの素」

◆昭和43年の発売以来今も変わらぬ
昔懐かしい味◆

江戸後期に鴨井長十郎商店として創業されたカモ井食品工業は、「味と日持ちで日本一」を合言葉に様々な加工食品を世に出してきました。定番の人気商品「チキンライスの素」はケチャップで炒めるよりべとつかず、鶏肉と野菜の旨みが活きた、香辛料控えめのやさしい味です。



ふるいち「ぶっかけうどん」

◆倉敷のソウルフード「ぶっかけうどん」発祥の店◆

全国のご当地うどんが集まる「うどん天下一決定戦」で2年連続優勝するなど、倉敷の名物として全国へと広がりを見せつつある、「ふるいち」のぶっかけうどん。モンドセレクション最高金賞を受賞した「お土産セット3人前・6人前」などお取り寄せ商品も充実しています。



くらしき塩屋「塩屋の田舎粒味噌」

◆大正時代から受け継がれてきた伝統のある風味豊かな味噌◆

「くらしき塩屋」では瀬戸内の恵まれた気候風土のもと、地元の塩と厳選したこだわりの原材料を使用し、熟練した職人が手造りで仕込みを行っています。コクのある豊かな風味、きめの細かい滑らかな味わいが特徴で、全国味噌鑑評会では、岡山県の味噌蔵で一番多くの賞を受賞しています。



豊島屋「タテソース」

◆約80年以上にわたって親しまれ、
愛され続ける味◆

享保5年(1720年)創業の老舗「豊島屋」は、昭和8年からウスターソースの製造を開始し、名前を「タテソース」として売り出すと、またたく間に全国に広がっていき、大人気商品となりました。ソフト、お好み焼き、とんかつなど、様々な味わいをラインナップしています。



倉敷鉾泉「倉敷味工房 塩ぼんず」

◆まろやかな塩味とさわやかな果汁の酸味が料理の味を引き立てる◆

にがりを生かした瀬戸内海産の塩をはじめ厳選された原材料を用い、製造も自社工場での小ロット生産。コストを度外視して徹底的に味にこだわっています。まろやかな塩味とさわやかな果汁の酸味が、料理の味を引き立てる新しいタイプの調味料です。



クラシキ文華 特集記事



国産綿帆布の約7割が生産されている倉敷。その中で、時代と共に進化し、発展し続けている「株式会社タケヤリ」は、代々にわたって伝統と技術を受け継ぎながら、貴重な織機と職人の手作業で唯一無二の「倉敷帆布」を織り続けています。風合いの美しさや使い込むことによって生まれる味わいが魅力の倉敷帆布は、機能性とデザイン性の良さから人気を呼んでいます。創業から約130年、時代を織り続け、新たな未来を紡ぐ帆布メーカー「株式会社タケヤリ」をレポートしました。



クラシキのニュース

心癒す ぼっけえお得な「倉敷みらい旅」【第3弾】

倉敷市内の宿泊がお得になる「倉敷みらい旅」の第3弾。市内の各宿泊施設が「癒やし」や「新しい旅行スタイル」などをテーマにした特色ある前売り宿泊プランを販売しています。市民・市内通勤の人は宿泊料金が40%割引、その他の人も35%割引になるお得なキャンペーンです。この機会にぜひ宿泊して、心癒やされてみませんか。詳しくは、「倉敷みらい旅」特設ホームページをご覧ください。

□販売期間…9月30日(休)まで

□宿泊対象期間…令和4年3月31日(休)まで

□購入方法…「倉敷みらい旅」特設ホームページからプランを選び、各宿泊施設のホームページなどで購入

※GoToトラベルキャンペーンとの併用はできません。



クラシキのイベント

くらしき藤物語～ハートランド倉敷

倉敷市の市花である「ふじ」をテーマに、くらしき川舟流しや藤娘人力車巡り、藤のあんどんなど、倉敷の歴史・文化の魅力を生かしたイベントです。

詳しくは、ホームページをご覧ください。

□期間…4月30日(金)～5月5日(祝)

□場所…倉敷美観地区など

